

周回コース（ストレート部分） 走行時の注意事項

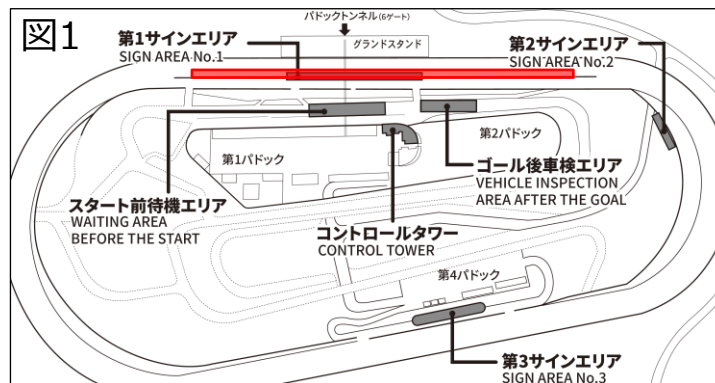
練習走行日・決勝日ともに図1：赤色部分に設置物があるため、グランドスタンド前のストレート部分のみ走行可能幅が減少します。

また、アウト側のレッカー専用レーンが該当部分のみ無しとなります。

ストレート上では無理な追い越しはせず、また前方に停止車両がないか十分に注意してください。

※ストレート上のレッカーは各カテゴリー終了時に行います。

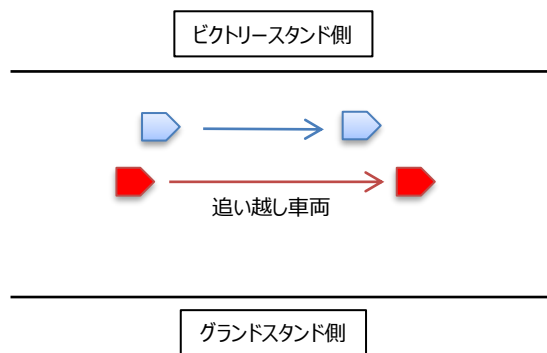
※停止車両がある場合はオフィシャルのイエローフラッグが目印となります。



【走行時の注意点】

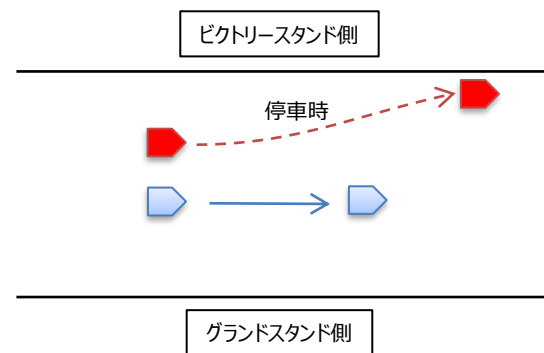
① 追い越しは右から、無理せず行う

追い越し車両は必ず右から行うこと。
また、ストレート上に台数が多い場合は無理に追い越しはしないようにお願いします。



② ストレート上で停止した場合

車両トラブルによりストレート上で停止した場合はイン側に車両を寄せ、オフィシャルの指示に従ってください。
自力でレースに復帰できる場合は後方車両に注意して走行を続けてください。



Honda エコ マイレッジ チャレンジ

走行について

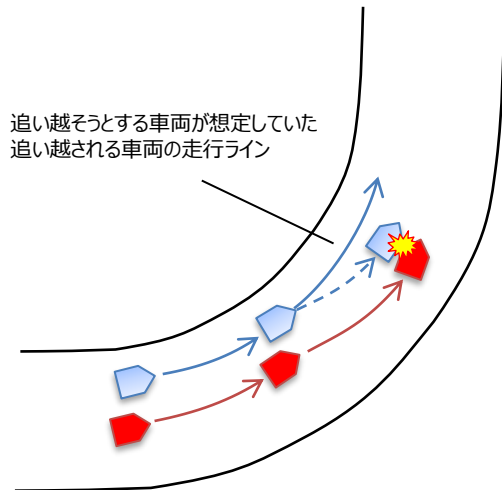
◆安全に競技を行うために◆

Honda エコ マイレッジ チャレンジは、通常のレースと異なりレーシングラインが存在せず、走行ルールに基づき各車両が自由なラインで走行しています。そのため、追い越しの際に左右の間隔を十分に確保できていなかったり、安全と思えても、無理な追い越しとなり他の車両と接触してしまうケースもあります。走行しているのは自分だけではありませんので、参加する皆様が記録を残せるように、安全に走行し競技を行いましょう。

【走行時の注意点】

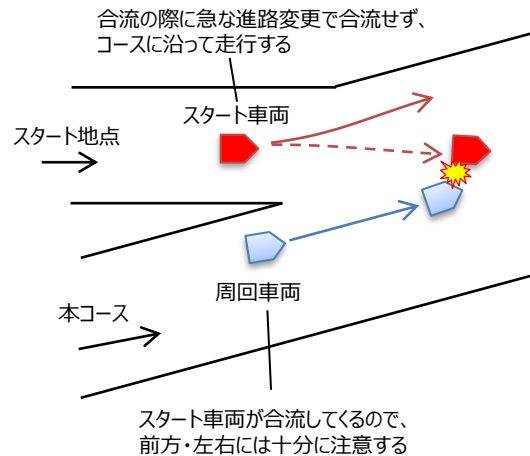
①追い越しをする時は左右の間隔を十分に確保する

→追い越される車両が意図しない進路で走ることあり、接触する可能性があります。
追い越しをする場合は、左右の確認、走行速度に十分に注意しましょう。



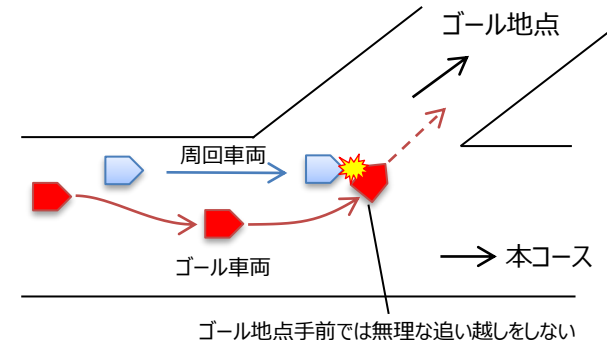
②スタート車両：本コースへの急な進路変更は避ける 周回車両：スタート車両が合流してくることを意識する

→急な進路変更は、周回車両からの追突や、追突されたことにより、スピンや横転事故が起きる可能性があります。
スタート直後は落ち着いて走行しましょう。



③ゴールへ向かう車両は分岐地点手前で無理な追い越しはしない

→無理な追い越しで周回車両との接触事故、または、無理なハンドリングで横転事故を起こす可能性もあります。
ゴール付近で無理な操作が起きないように、計画的に走行しましょう。

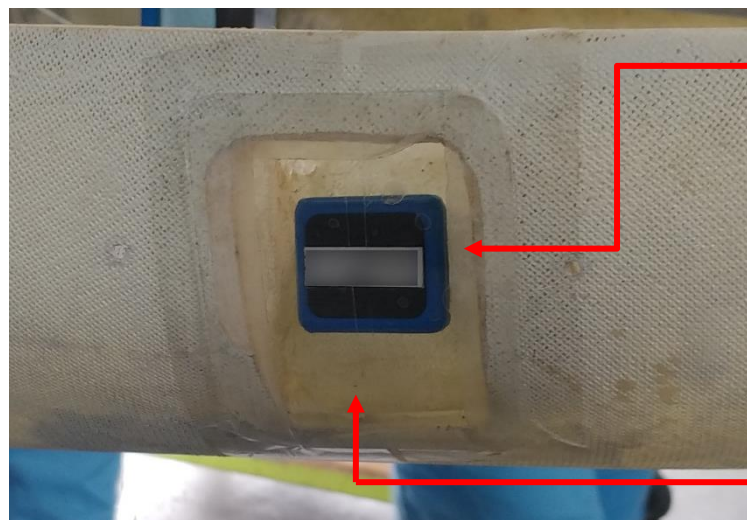


トランスポンダの取付について

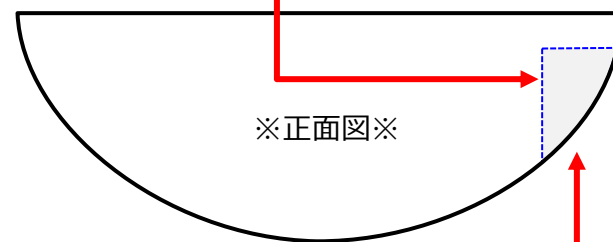
本大会は、参加チームの皆様の研鑽によって、車両のレベル上がり、技術を競う素晴らしい大会に発展しておりますが、併せて計測に支障が起こり兼ねないトランスポンダの取付を行うチームも見受けられます。そこで、計測漏れを無くし、参加者の皆様へ正確に記録をお届けしたいと思い、今回「競技規則 第3章 車両規則 第1条 車両規定 第3項 トランスポンダ」の項目を改訂いたしました。下の画像は一例ですが、ご参考までにトランスポンダの取付をご配慮ください。

皆様のご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

【取付一例】



カウルの形状をくり抜いているため
「カウルの外側」とみなす



※正面図※

トランスポンダと路面の間に遮断
する物質なし

公式燃料タンクの形状について

公式燃料タンクは製作から年月が経っているものも多く、多少の破損であれば修正して利用しています。

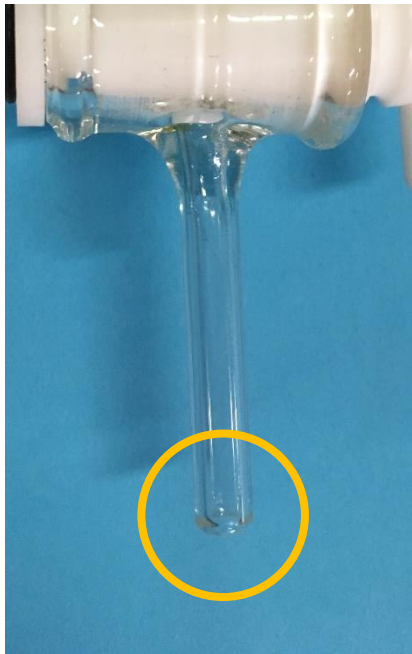
そのため、コック下の部分に関しては、一部形状が異なるタンクが混在しております。

「ガラスがまっすぐに切られているもの」「多少のがたつきがあるもの」とありますが、

割れていないタンクの先端は「丸み」があります（修理の過程で、熱で溶かして成型するため丸くなります）

割れてしまったタンクの先端は「鋭利」になります。

割れていないタンク



先端がまっすぐで丸みがある



先端にがたつきがあるが、丸みがある

割れてるタンク



先端が鋭利になっている

公式燃料タンク 取扱方法

◆安全にご使用頂くために◆

近年、**コックの緩みによる燃料漏れ**が発生しております。燃料漏れは、**火災発生の原因**となり大変危険です。公式燃料タンクを正しい方法で使用し、燃料漏れに注意して下さい。

【公式燃料タンクの使用方法】

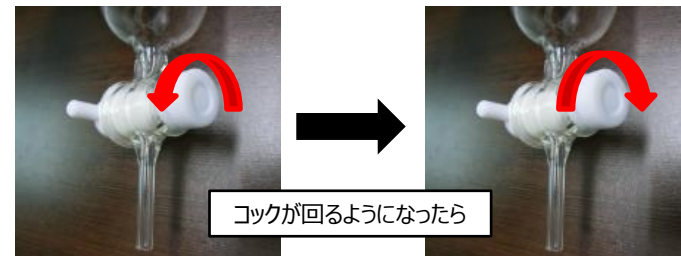
- 1.公式燃料タンクが貸与されましたら、コックネジがしっかりと締まっていることを確認してください。
- 2.コック開放し燃料を流す際は、**コック左側の棒がある方のみを回転**させてください。
- 3.コックが回らない場合は、下記方法をお試しください。

こちら側のみを回す



【コックが回らない場合の方法】

- 1.コックネジを緩めてください。
※コックネジを緩める際は、急に緩めず、ゆっくりと回してください。
- 2.コックが回るようになったら、コックネジを締め直してください。
※コックが簡単に回る場合、コックネジの締めつけが弱い状態です。
コックの回しが少し固いと感じる程度まで、コックネジは締めてください。



コックが回るようになったら

コックが回らない場合の方法をお試し頂いた際に、コックネジ部分が緩んだままの状態の場合、**燃料漏れの恐れ**があり、**火災発生の原因**となる可能性があります。また、車両の振動によりコックネジ部分が緩んでしまう恐れがあるため、コックネジは必ず締め直し、コックネジ部分は極力車両または車両構成部品へ当たらないように燃料タンクを固定頂けますよう、お願い申し上げます。